

国民健康保険 和水町立病院 職員採用試験

1 応募職種・人数

- ①看護師または准看護師(正職員)……………2人
- ②理学療法士(正職員)……………1人
- ③一般事務(正職員)……………1人

2 応募資格

- ①看護師または准看護師……………資格を有する45歳以下
- ②理学療法士……………資格を有する35歳以下
- ③一般事務……………◎30歳以上45歳以下で病院事務経験者
◎10年以上または指導的経験5年以上の人

※一般事務については、◎部分の条件を両方満たす人が対象です。
その他の資格要件については、下記問い合わせ先までお尋ねください。

3 応募方法(提出書類)

- ①申込書(指定様式、写真貼付、本人自筆)
- ②履歴書(市販のもので可、申込書と同一の写真貼付、本人自筆)
- ※一般事務へ申し込む予定の人は職歴・病院事務経験内容が正確に判断できるよう記載してください。
- ③看護師、准看護師、理学療法士の免許証の写し(A4縮小)
- ※申込書は、和水町立病院事務部総務係で配付または和水町ホームページ「平成26年度採用 国民健康保険和水町立病院職員募集要項」からもダウンロードできます。

4 申込受付期間…8月1日(金)～8月15日(金)【必着】

- 5 試験日……………8月30日(土)
午前8時30分～午後2時終了
(受験者数により変更有)
- 場 所……………国民健康保険和水町立病院
2階 大会議室
- 試験内容……………教養試験・適性検査・面接

- 6 合格発表……………9月5日(金)予定
10月1日に採用の予定です。

- 7 その他……………和水町職員(地方公務員)としての採用です。

問い合わせ先 国民健康保険 和水町立病院 事務部 総務係 ☎0968・86・3105



看護師のキャリアアップを目指して！

和水町立病院看護部では、「良質・安全で効果的な看護や介護を行う学習の場を提供すること」を目的に毎月研修会を実施しています。主に患者さんに対しての“看護・介護の質向上”と“個人のキャリアアップ”を目指して行っています。昨年度は、『看護記録』に関することを重点に「看護診断」「介護記録」について研修会を実施し、また、認知症や身体拘束、看護倫理などについても研修したところです。

今回は6月21日(土)に開催した研修について皆さんに紹介します。

研修内容『倫理的看取りとは－ホスピスから－』

現在、看取りについては個人に寄り添うということが大切と言われています。そこで6月21日(土)、実際ホスピスケア(終末期ケア)ではどのように行われているのか、本病院でも実践していくために、イエズス^{みこころ}の聖心病院からシスター泉キリエ氏を招き、『倫理的看取りとは－ホスピスから－』について講演会を開催しました。

その講演の中で

- 1.さびしがらせない 2.待たせない 3.急がせない 4.怒らせない 5.聞く姿勢
- 常にこの言葉を念頭に置き、患者様に寄り添うことが大事であると教えていただきました。

また、熊本日日新聞の『雨の日も晴れの日』で掲載がありましたが、

- 死に行く人の「ありがとう」は最後の大きな仕事。互いに尊敬し、名前を呼びあい、ありがとうと言える。これが生涯をかけて咲かせた、その人の花のように思えます。

- ホスピスは自由でしょう。みなさん優しいでしょう。静かでしょう。頼みさえすれば応えて下さるでしょう。

とシスターは私たち看護師に対し諭していただきました。

研修会を受け、私たち看護師は“患者様を中心に!”を心がけて、より一層看護に心をこめ、思いやりをもって実践していくことが大切と考えました。まずは、ナースコールなど患者様の声を真摯になって聞くという身近なところから取り組んでいけたらと思います。

人生最後に「ありがとう」と言っていただけのような看護を目指して。

今回、この研修会参加者の中には地域の方々の姿もありました。このように研修会への参加は自由です。これからも広報などでお知らせしますので、興味のある人は和水町立病院までご連絡をお願いします。

※ホスピスケア(終末期ケア)とは？

近い将来に死に至ることが予見される人に対し、その身体的・精神的苦痛、苦悩をできるだけ緩和し、死に至るまでの期間、その人なりに充実して納得して生き抜くことができるように、日々の暮らしを営めることを目的として看護すること。

内視鏡室からのお知らせ

健診の結果はいかがでしたか？

最近、健診結果をもって内視鏡検査を受けられる人が増えてきました。昨年から内視鏡専門の市原明比古先生が常勤医師として勤務されています。健診結果を見て気になる人、食事が入らない、胃が痛い、便通で心配とお悩みの人など、お気軽にご相談ください。



内視鏡室のスタッフ(中央、市原明比古先生)

ボランティアの皆さんへ ～感謝～

地域の人々のボランティアで、院内の外来や病棟の壁に写真や絵画を飾らせていただいています。また、花や、苗物もいただいています。私たちスタッフはもちろんのこと、診察を待たれている患者さんもいつも癒されています。

地域のボランティアの皆さん、ありがとうございます。



外来の壁に飾っている絵画